



# 岐阜県感染症発生動向調査週報

Gifu Infectious Diseases Weekly Report

平成 29 年 7 月 21 日 岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）

2017 年第 28 週  
(7/10~7/16)

- 咽頭結膜熱は、患者数の多い状態が続いており、恵那保健所管内で引き続き警報レベルとなっています。
- 手足口病は、過去 5 年の同時期と比較して最も多くなっており、岐阜市・岐阜・恵那保健所管内で警報レベルの流行となっています。→トピックス
- 流行性耳下腺炎は、週により増減はありますが、継続して患者が報告されています。

## ■ 定点把握対象疾患の発生動向（インフルエンザ 定点:87 か所、小児科定点:53 か所、眼科定点:11 か所、基幹定点:5 か所）

### ● 警報・注意報レベルの保健所がある疾患

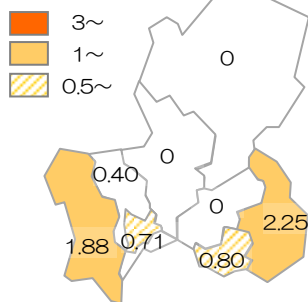
レベル	疾患名	基準	該当保健所（定点当たり報告数）
警報レベル	咽頭結膜熱	定点当たり 3 人以上 (1 人を下回るまで継続)	恵那 (2.25)
	手足口病	定点当たり 5 人以上 (2 人を下回るまで継続)	岐阜市 (5.29)、岐阜 (7.60)、恵那 (6.50)
注意報レベル	なし		—

※定点当たり報告数が一定の基準を超えた場合、保健所単位で「警報・注意報レベル」を発信しています。

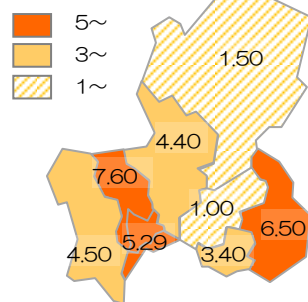
警報レベルは大きな流行が発生または継続していると疑われることを、注意報レベルは流行の発生前であれば今後 4 週間以内に大きな流行が発生する可能性が高いこと、流行の発生後であれば流行が継続していると疑われることを指します。

### ● 注意したい感染症の保健所別流行状況（地図中の数値は定点当たり報告数）

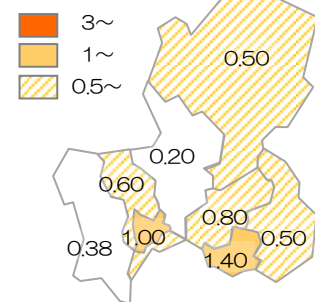
#### <咽頭結膜熱>



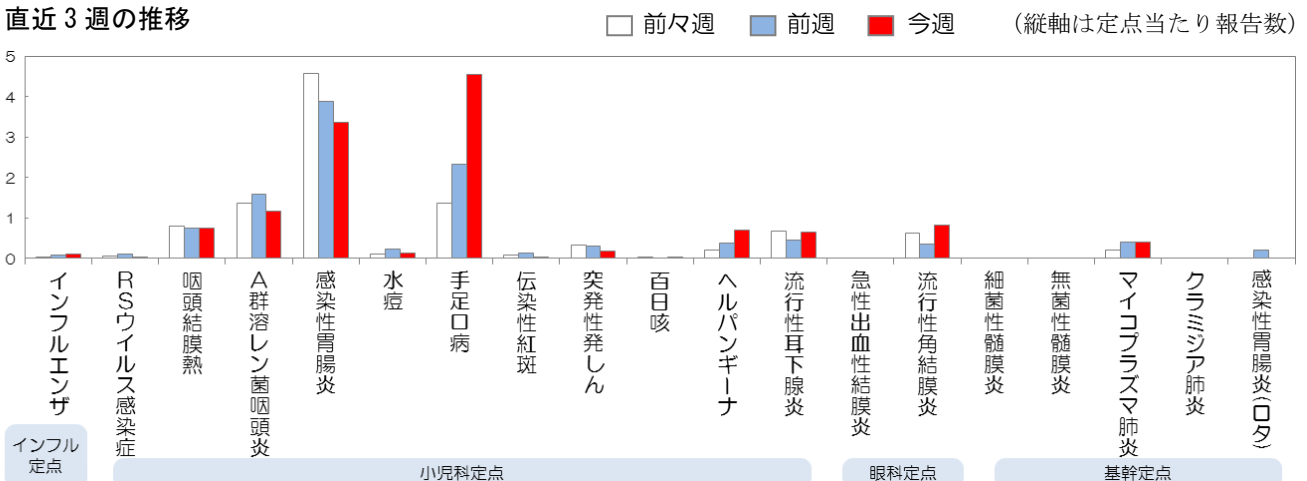
#### <手足口病>



#### <流行性耳下腺炎>



### ● 直近 3 週の推移



## ■ 全数把握対象疾患の発生動向

### ● 今週届出分

- 1 類感染症：なし
- 2 類感染症：結核 14 例
- 3 類感染症：なし
- 4 類感染症：レジオネラ症 4 例
- 5 類感染症：アメーバ赤痢 1 例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1 例、後天性免疫不全症候群 1 例

全国情報は国立感染症研究所感染症疫学センターの HP をご覧ください。

感染症発生動向調査週報 (IDWR) <https://www.niid.go.jp/niid/ja/idwr.html>

## ■ トピックス

### ● 手足口病

#### ◇ 全国、県内で患者が増加しています。

今年は全国的に手足口病の流行がみられており、県内でも患者報告数が増加しています。

県内の小児科定点医療機関からの手足口病の患者報告数は、第28週に228人（定点当たり4.56人）となり、前週（定点当たり2.34人）の約2倍に急増しています。

過去5年では、2013年と2015年に県内で比較的大きな流行となりましたが、今年はこれらの年の同時期と比較しても多くなっています。

保健所別では、岐阜市、岐阜、恵那保健所管内で警報レベルの定点当たり5人を超えています。

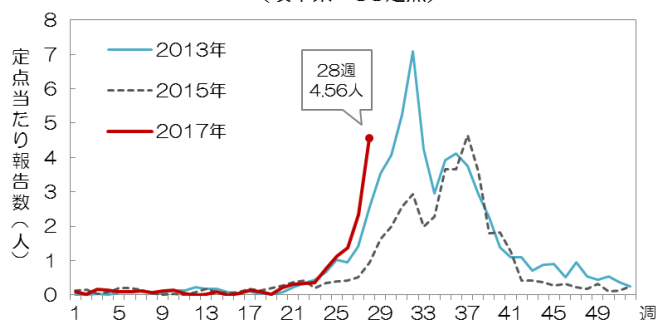
患者の年齢は5歳以下の乳幼児が大部分を占め、1歳が最も多くなっています。

また、全国の地方衛生研究所からの報告によると、今年、手足口病患者からのウイルス検出状況は、多い順に、コクサッキーウイルスA6（55%）、ライノウイルス（33%）、コクサッキーウイルスA16（6%）、エンテロウイルス71（6%）となっています。県内では、7月16日までに4人の患者から、コクサッキーウイルスA16が2件、ライノウイルスが2件、コクサッキーウイルスA6が1件、エンテロウイルス71が1件検出されています（コクサッキーウイルスA16とライノウイルスの同時検出が2人）。

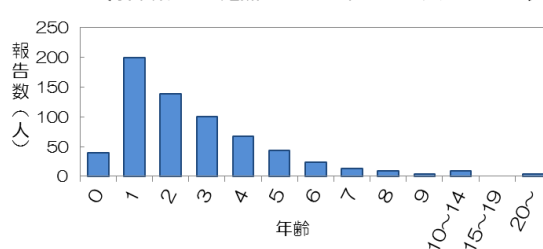
今後、さらに患者が増えることが予想されますので、動向に注意が必要です。

好発年齢の乳幼児が集まる保育所等の施設やお子さんを持つ家庭内では、手洗いの励行や、おむつなど汚物の適切な処理などの予防対策に努めることが大切です。

手足口病患者 週別報告数  
(岐阜県：53定点)



手足口病 年齢別報告数  
(岐阜県：53定点 2017年1～28週 n=651)



#### ○ 手足口病とは

コクサッキーウイルスA16、A6、エンテロウイルス71などのエンテロウイルスの感染による小児の夏かぜの代表的な疾患です。口腔粘膜、手のひら、足の裏や甲に現れる水疱性の発疹を特徴とします。基本的には予後良好ですが、時に急性髄膜炎を、稀に急性脳炎を合併することがあり、なかでもエンテロウイルス71は中枢神経系合併症の発生率が他のウイルスより高いことが知られています。

#### ○ 感染症法における取扱い

手足口病は、感染症法において5類感染症定点把握対象疾患に定められており、全国約3,100か所（県内53か所）の小児科定点から毎週報告がなされています。

届出基準・届出様式はこちらをご覧ください。（保健医療課 HP）

<http://www.pref.gifu.lg.jp/kodomo/kenko/kansensho/11223/kansenshouhou-ki.jun.html>

岐阜県感染症情報センターHP

<http://www.pref.gifu.lg.jp/kodomo/kenko/kansensho/kansensyo/>